

総合患者支援センターニュース

〒700-8558
岡山市北区鹿田町2丁目5番1号
岡山大学病院
総合患者支援センター
☎086 -223 -7151 (代表)
☎086 -235 -7744 (直通)

Integrated Support Center for Patients and Self-learning
Okayama University Hospital



センターの活動に関してはホームページ
(<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/>)
をご覧ください。

「がんサロン岡大」のご案内



「がんサロン岡大」は、がん治療や療養上の様々な相談を受ける中で、「患者が自由に話し合うことができる場を院内に作ることはできないか」と患者さんからのご要望もあり、2010年1月に開始して今年で3年目になります。当院では、2007年8月に都道府県がん診療連携拠点病院に指定され、がん相談支援センターに期待される課題の一つに「がんサロン」のサポートがあり、センターの相談員がサロンの運営に関わっています。

以後、定例会は毎月第3金曜日14時～16時に開催しており、偶数月は医師・看護師等によるミニ講座と講師を囲んでの座談会、奇数月には茶話会を行っています。対象は、当院に通院歴のあるがん患者さん及びそのご家族です。お互いの発言を批判しないこと、プライバシーを守ることがこの会のルールです。がん種に限らず、療養体験を語り合ったり、ご家族の立場からの思いも聞くことができ、「大変な思いを皆さんが乗り越えてこられたと聞き、元気がもられた」「辛いのは自分だけじゃなく、家族も同じように辛い思いを抱えていたことが分かった」という発言があり、体験を共有できる場になっています。



また、毎年恒例のお花見を、4月に患者さんが中心に企画して開催しています。病院近くの西川沿いの桜並木を散策し、レストランで美味しい食事をいただきながらおしゃべりを楽しんでいます。参加された方が「副作用ですと食事が出なかったけど、いつもと違う雰囲気の中で食事をする食べることができ嬉しかった」と感想を話され、少しでも解放された気持ちで参加していただけてよかったと感じられた言葉でした。



今後も、参加者の意向を確認しながら相談員が側面的にサポートしていき、患者さんやご家族が主体的に参加できるように心許せる語らいの場を継続して作っていきたいと思います。どうぞお気軽にご参加ください。皆様のご参加をお待ちしております。

肝炎相談センターの紹介



医療ソーシャルワーカー 笠原 郁子



皆様はじめまして、総合患者支援センターの肝炎相談センターに勤務しております、笠原郁子と申します。肝炎関係の相談対応をさせて頂くことが多いですが、総合患者支援センターに来られる患者さまやご家族の皆様から、安心して相談して頂けるように幅広い知識を得て、自己研鑽に努めてまいりたいと思っております。よろしくお願いたします。

肝炎相談センターは、平成19年12月に岡山県より肝疾患診療連携拠点病院として岡山大学病院に設置され、平成25年11月より外来から総合患者支援センター内に移し、より一体的に皆様からの相談に対応させて頂いております。相談は電話と面接とでお受けしています。相談内容は「病気について」「検査・治療」「感染予防」「専門医療機関の情報」「医療費・助成制度」「受診勧奨(術前検査などで肝炎ウイルスが陽性の方に精密検査のお奨め)」「新薬について」など広範囲ですが、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士などの専門職種との協力を頂きながら、相談業務をすすめております。

また、地域の医療機関の方々からも助成制度に関する事などのお問い合わせやご相談も頂いております。今後も肝炎相談を通して皆様とホットな関係を築いていきたいと思っております。

退院支援で連携している院内のチーム紹介 ～周術期管理センター～

周術期管理センターは当院で手術を受けられる患者さんを多職種連携の医療チームが手術決定の外来受診時より、身体面・精神面をサポートさせていただくセンターです。全国に先駆け2008年9月に開設し、院内ではPerioperative management centerの最初の5文字をとってPERIO(ペリオ)と呼んでいます。PERIOを支えるメンバーは歯科医師を含めた医師、看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士、歯科技工士です。各職種の役割は下の図で紹介しています。その中でPERIO看護外来では、術後の経過を良くするために患者さんに手術前から取り組んでいただきたいことや手術をうまく乗り切るための痛み止めの使用方法など、手術や患者さんに合わせた説明を行っています。患者さんの中には「先生に手術するように言われたから…」という受け身の方もおられます。がんの手術は臓器を失う手術であり、生活にどのような影響が出るのかを外来で看護師が丁寧に説明するようにしています。また、手術後の生活を見据え、入院前より総合患者支援センターと協力して退院時の支援なども行っています。

手術を受けられる患者さんがPERIOを受診いただくことにより、術後の合併症が少なくなったり、入院期間が短くなったりしています。患者さんからは医療チームの関わりに安心感がもてるなどの声も聞かれています。

現在は限られた診療科や手術へのサポートですが、今後は診療科を拡大していく予定です。



各職種の役割



外科医

手術や治療の方針を決めます。



麻酔科医

手術中、術後の麻酔、全身の管理をします。手術後の痛みのコントロールをします。



看護師

身体の状態の確認、手術への意思決定支援、手術後の痛み止めの説明、食べる・飲み込む機能評価、禁煙の支援、不安の相談を行います。



薬剤師

手術に向けた薬の確認と説明をします。

必要な方には以下の職種も紹介します



歯科医/歯科衛生士/歯科技工士

手術後の合併症予防のために、歯や歯茎の治療、口内の大掃除を行います。麻酔の時に歯を守る方法を検討します。食べる・飲み込む機能の評価とリハビリサポートをします。



理学療法士/作業療法士/言語聴覚士

手術前の呼吸訓練と手術後のリハビリサポートをします。ことばに関する機能や食事の飲み込みに関する機能のリハビリサポートをします。



管理栄養士

手術前後の栄養評価と栄養サポートをします。



ソーシャルワーカー

病気から生じる不安や困り事に対しての社会保障や福祉支援、自宅、地域、病院の連携をコーディネートします。

晴れやかネットについての紹介

晴れやかネットとは、患者さんの同意をもとに、医療機関のネットワークにより診療情報を共有し、診療に役立てるための仕組みです。平成26年8月22日現在、開示49病院、閲覧427施設(病院・診療所・薬局・介護施設)の間で診療情報の共有が行われております。

当院は、平成25年1月の運用開始時より晴れやかネットに参加し、患者さんの基本情報・各種オーダー情報・カルテ情報・各種検査結果・画像等の情報を公開しております。当院で受けた検査結果などの診察情報を、身近なかかりつけの診療所等の医師が閲覧できることにより、患者さんにより適切な診断・治療を提供させていただいております。

また、同意は患者さんの意思でいつでも撤回できます。負担する費用も一切ありません。セキュリティが確保された回線を使用することで個人情報の保護にも努めております。

岡山大学病院は、他の医療機関と連携しながら地域の患者さんを支えています。



病院訪問について

総合患者支援センターでは以前より、患者さんが転院後あるいは退院後に安心して医療が受けられるように、地域の医療機関を訪問しています。連携先の窓口の方と意見交換するだけでなく、連携先の施設見学などもさせていただき、それぞれの医療機関に関する情報を得て、当院との良好な連携を依頼しています。

6月16日には患者支援部門の副センター長と主任ソーシャルワーカー、看護師長、地域支援担当の総括主査との4人で金田病院と落合病院を訪問させていただきました。

センターが病院訪問するだけでなく、当院へも多くの医療機関・地域の施設から訪問があります。顔の見える連携をすることで、その後の相談も行いやすいと感じています。



金田病院にて



落合病院にて

第11回国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会に参加

本年7月11日(金)～12日(土)に長崎ブリックホール国際会議場で、長崎大学病院の開催により第11回国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会が行われ総合患者支援センターから医師・看護師・医療ソーシャルワーカー・事務員が参加してきました。一日目は、「入退院システムの必要性と機能を考える」及び「退院支援患者のフォローアップ・退院支援評価をどう行うか?」とのテーマでシンポジウムが行われ、二日目は、シンポジウムを3会場で同時開催し、各大学での先進的な取り組みの報告や様々な課題に対する取り組み状況の報告がされ情報交換などを行いました。

桃太郎がんメディカルカフェのご案内

桃太郎がんメディカルカフェは今回で4回目の開催となります。メディカルカフェとは、がん患者さんやご家族だけでなく、医療従事者も含む市民が参加者として集い、それぞれが対等な立場で心の豊かさや人生観、生き方について自由に語り、交流する場です。

どなたでも自由にご参加いただけます。関心のある方、初めての方もご遠慮なく下記までお問い合わせください。

日時 2014年10月24日(金)
13:30~15:30(受付:13:00~)

*時間内であれば何時でも出入り自由です。

場所 岡山大学病院 マスカットキューブ3階

対象 がん患者・家族、医療スタッフ、学生、その他関心のある方
(岡山大学病院以外へ通院中の方もご参加いただけます)

参加費:お茶代として100円

*当日受付も可能ですが、できるだけ事前にお申し込みください。

お問い合わせ先 岡山大学病院 総合患者支援センター
Tel(直通):086-235-7744

がん診療連携拠点病院公開講座のお知らせ

当院では、毎年1月に市民の方を対象としたがんに関する公開講座を開催しています。第8回を迎える今年度は、垣添忠生先生を講師にお迎えすることになりました。

垣添先生は、泌尿器科の医師として長年診療に携わってこられましたが、ご自身もがん体験者として、そして奥様をがんで亡くされたご家族として、さらに現在は日本対がん協会会長として、がんと真摯に向き合ってこられました。その先生のご経験やお考えをお伺いすることができる貴重な機会です。どなたでもご参加いただけますので、ご希望の方は総合患者支援センターまでお申し込みください。

日時 2015年1月25日(日)10:00~12:00

会場 Jホール(Junko Fukutake Hall)岡山大学病院内

内容 講演『がんと向き合って』

講師 国立がんセンター名誉総長
(財)日本対がん協会会長 垣添 忠生 先生

お申し込み 岡山大学病院 総合患者支援センター
Tel(直通)086-235-7744

外来ボランティアさんの紹介

岡山大学病院のボランティアさんは、外来・患者図書室・小児科ばんび・園芸の4つのグループで活動しています。今回は、外来ボランティアさんを紹介します。

正面玄関や院内で青色のエプロンや黄色の腕章を着けた方を見られたことはありませんか？
この方が、外来ボランティアさんです。

初診の方やお一人で受診される方などご不安を抱えながら、来院される方もおられるかと思えます。外来ボランティアさんは、受診受付のご案内や院内の移動介助、車椅子の整備など、皆様が少しでも安心して通院して頂けるようにとの思いで、日々活動をしています。



募集!

一緒にボランティア活動をしてみませんか？
新規ボランティア活動員を募集します(期間:10/1~11/28)

当院では平成8年より、ボランティア登録をはじめ、現在では毎年100名前後の方が登録し、日々院内で活動して下さっています。ボランティアの方々には、継続的に活動をお願いできればと考えております。登録希望の方や詳細に関しては、総合患者支援センターにお問い合わせ下さい。

~活動の内容~

外来案内	患者図書室	小児科ばんび	園芸
月~金 8:30~12:00 受診受付のお手伝い 院内のご案内など	月~金 10:00~15:00 本の貸出・整理 病棟へ移動図書 (月1回)	第3月 14:00~16:00 小児科病棟で、本読み 聞かせや工作	第1・3金 10:00~12:00 院内の庭で季節の 花々の手入れ 院内保育園や入院 患者との交流



お問い合わせ先:岡山大学病院 総合患者支援センター(直通:086-235-7744)
平日8:30~17:15